

小規模多機能ホームを紐解くセミナー

小規模多機能ホームの原点を学ぶ

趣 旨

認知症になっても重い障害をもって、住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けたいと願う高齢者の思いを支え続けてきた、宅老所やグループホームの実践は、「通って」「泊まって」「自宅にも来てくれて」「いざとなったら住むこともできる」多機能性を備えたケアを生み出しました。

このような小規模多機能ケアは、一昨年、厚生労働省老健局長の私的研究会である高齢者介護研究会が発表した報告書『2015 年の高齢者介護』の中でも、自宅や地域での暮らしを支える新たな形態として、今注目を集めています。

高齢者の尊厳を支え、利用者一人ひとりに寄り添い 24 時間 365 日切れ目なく生活を支える小規模多機能ホームの具体的実践を紹介するとともに、可能な限り自宅での暮らしを支えることを大切にしたい小規模多機能ホームの意義やこれからについて考えることを目的に開催します。

「のぞみホーム」のご紹介

1993 年、デイサービスから始まったのぞみホームは、「その人らしい生き方・暮らし方」を支えるため、必要に応じて、通いや泊まり、ヘルプや居住なども備えた小規模多機能ホームへと変化してきました。

たとえ住むことになっても、これまで住んでいた地域や地域の人々との関係が切れることのないよう配慮し、また、自宅に帰れる可能性を探り続ける在宅支援です。

「小規模多機能型居宅介護」の制度化のモデルの 1 つでもあります。

日時：2005年10月31日(月)10:30～16:30
会場：千葉市文化センター(千葉市中央区)

多角経営≠多機能
その違いを明らかにします!!

プログラム

時 間	内 容
10:30～11:00	小規模多機能ホームとは何か
11:00～12:00	実践報告「小規模多機能ホームのぞみホーム」 のぞみホーム(栃木県壬生町) 代表 奥山久美子氏
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～14:00	「小規模多機能ホームの生まれ方、育ち方 ～のぞみホームの実践を紐解く～」
14:00～15:00	「小規模多機能ホームを取巻く状況と制度化の方向」
15:15～16:30	質疑応答

参加費 8,000円

申し込み方法

表面の申し込み欄に必要事項をご記入のうえ、FAX、または郵送にてお申し込みください。

折り返し、参加費の振込方法、会場などを記載した受付確認票をFAXにてお送りいたしますので、参加費をお振り込みください。

参加費の振り込みを確認し次第、受講票をお送りいたします。当日は、受講票をお持ちになり、会場までお越しください。

[参加申込書]小規模多機能ホームを紐解くセミナー【千葉】

FAX: 03-5912-6546

小規模多機能ホーム研究会

[事務センター]地域生活サポート研究所
〒176-0012

東京都練馬区豊玉北3-5-2 3階
電 話: 03-5912-6545

FAX: 03-5912-6546

所 属			
氏 名			
住 所	〒 -		
電 話		FAX	